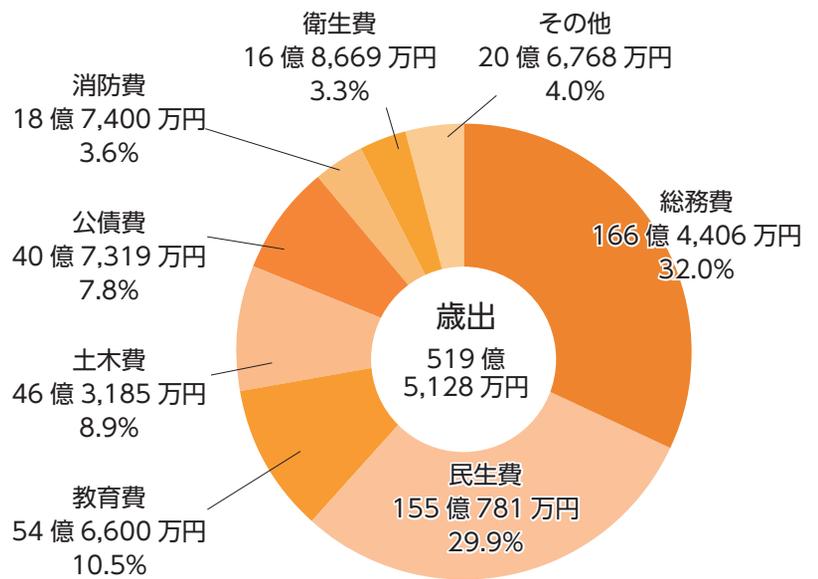
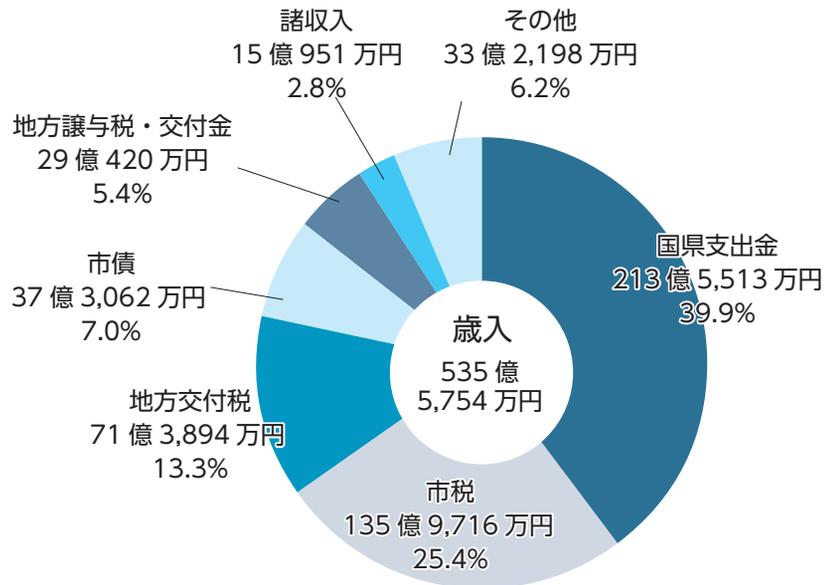


令和2年度 決算報告

問 財政課 ☎ 内線 1630

一般会計決算額は、令和元年度と比べて歳入が125億6,531万円、30.7%の増、歳出が118億2,242万円、29.5%の増となっています。特別定額給付金を始めとしたさまざまな新型コロナウイルス感染症対策事業を実施したため大幅に増となりました。

一般会計



- ▶国県支出金…市が行う特定の事業に対する国・県からの負担金や補助金
- ▶市税…市民の皆さんや市内商店・企業などから納めていただいた税金
- ▶地方交付税…全国の地方公共団体の税収などの差を考慮し、行政サービスが一定の水準となるよう、国が財源を補うために交付するお金
- ▶市債…市が道路や施設などの整備をするときに、事業費の一部に充てるため、国や金融機関から借り入れるお金
- ▶地方譲与税・交付金…自動車重量税などの国税として徴収され、地方に譲与されるお金や地方消費税交付金など
- ▶諸収入…プレミアム付商品券の販売収入や、貸付金の元利収入、給食費など
- ▶その他…財政調整基金繰入金や、不動産売却による財産収入、寄付金など

- ▶総務費…市庁舎の維持管理や税の徴収、交通安全、災害対策などの経費
- ▶民生費…保育などの子育て支援や、高齢者・障害者に対する福祉などの経費
- ▶教育費…学校教育や文化・スポーツ振興などの経費
- ▶土木費…道路、排水、公園などを整備するための経費
- ▶公債費…道路や学校などの施設整備などで市が借り入れたお金の返済金
- ▶消防費…消防や救急のための経費
- ▶衛生費…ごみの収集や疾病予防、公共施設の放射能測定などの経費
- ▶その他…議会費や農林水産業費、商工費など

特別会計

特別会計決算額は、歳入が265億228万3千円、元年度と比べて0.04%の増、歳出が246億7,187万5千円、元年度と比べて2.1%の減となっています。



令和2年度決算の詳細はこちら

財政の健全化判断比率

指標		令和2年度	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	-	12.17%	20.0%
	連結実質赤字比率	-	17.17%	30.0%
	実質公債費比率	6.5%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	30.0%	350.0%	



財政の健全化判断比率とは

※「-」は赤字額がないことを表します。

令和2年度 主な事業

令和2年度は「魅力ある都市空間づくり」「定住化促進・少子高齢化への対応」「安全安心な教育環境の実現」「市民協働と持続可能な自治体運営」などを重点項目として推進しました。

魅力ある都市空間づくり

- ▶取手駅北土地区画整理…11億8,948万8千円
駅前交通広場の整備のための造成工事や、ペDESTリアンデッキ改修工事に向けた実施設計を行いました。
- ▶都市計画道路整備…3億6,091万4千円
- ▶桑原地区整備推進…6,397万3千円



定住化促進・少子高齢化への対応

- ▶定住化促進住宅補助金…3,982万円
良質な新築住宅の取得や中古住宅のリノベーションに対する補助、シニア世代の持ち家を生かした子育て世代への家賃補助などを行い、子育て世代や市内就業者などの定住化を促進しました。
- ▶高井小学校放課後子どもクラブ室新築…1億1,117万7千円
- ▶多子世帯保育料軽減…3,071万9千円
- ▶観光パンフレット作成…506万円



安全安心な教育環境の実現

- ▶宮和田小学校舎・体育館大規模改造…7億4,250万7千円
老朽化した宮和田小学校校舎・体育館の大規模改造工事を行い、安全で快適な教育環境の充実を図りました。
- ▶中学校特別教室空調設備設置…3億516万2千円
- ▶通学路整備…1億1,252万7千円
 - ・山王…5,530万5千円
 - ・野々井…4,785万円
 - ・駒場四丁目…937万2千円



市民協働と持続可能な自治体運営

- ▶公共施設等総合管理計画第1次行動計画策定…588万5千円
長期的視野に立った公共施設の全体最適化と持続可能な自治体経営の両立を図るため、公共施設等総合管理計画の第1次行動計画の策定に着手しました。
- ▶非常用発電設備改修…1億7,831万円

